

法学会だより

二〇〇四年一月〜二月

一課題「札幌学院法学二〇卷第二号、二〇〇四年三月

第六九回研究会 一月二九日(木)

家田 愛子 「EUにおける社会的パートナーシップと民主主義」

(出口雄一との共著)「牧野英一」伊藤隆・季武嘉也編『近現代日本人物史料情報辞典』吉川弘文館、二〇〇四年七月

第七〇回研究会 二月一八日(水)

洞澤 秀雄 「転換期のイギリス行政法——都市法を中心に——」

清水 敏行

(論文)「民主体制定着期の韓国における政治と市民社会(一)」『札幌学院法学』第二〇卷第二号、二〇〇四年三月

第七一回研究会 七月二三日(木)

小杉 伸次 「ストック・オプション課税における問題点」

(論文)「民主体制定着期の韓国における政治と市民社会(二)」『札幌学院法学』第二一卷第一号、二〇〇四年九月

第七二回研究会 十一月二五日(木)

渡辺 利治 「現代の農地所有権論」

(翻訳)「韓国の第一六代大統領選挙と地域主義」『札幌学院法学』第二一卷第一号、二〇〇四年九月

著書・論文・翻訳など

家田 愛子 (論説)「高齢者雇用とシルバー人材センター」

(資料)「韓国における市民団体経歴保有者について」『札幌学院法学』第二一卷第一号、二〇〇四年九月

『労働法の争点(第三版)』(ジュリスト別冊)『有斐閣 二〇〇四年

学二〇卷第二号、二〇〇四年三月

伊藤 雅康 (論文)「労働者の参加権と憲法院」札幌学院法学

鈴木 敬夫

学二〇卷第二号、二〇〇四年三月

(論文)「論自由社会主義……論古斯塔夫・拉德布魯赫著《社会主義文化理論》(一九四九年)的现代意義」、『札幌学院法学』第二〇卷第二号、

小沢 隆司 (研究ノート)「『沖繩』再考——日本近代法史の

札幌学院法学(二一卷二号)

二〇〇四年三月

(論文) 「価値相対主義法哲学的現代意義」、『上海大学法学評論』二〇〇四年三月号

竹野谷みゆき

『札幌学院大学』第二一巻第一号、二〇〇四年九月

(論文) 「中国におけるラートブルッフ研究……」

原秀男博士没二〇年、「法の理論」第二三号、

二〇〇四年七月

(論文) 「中国における政治体制改革への道……」

杜鋼建教授の新仁学「政道」論、「札幌学院法学」第二一巻第一号、二〇〇四年九月

(論文) 「論自由社会主義……論古斯塔夫・拉德

布魯赫《社会主義文化理論》的現代意義」、「比較法研究」中国政法大学刊、二〇〇四年九月

(論文) 「中国における価値相対主義とラートブルッフ」、「法政策論集」韓国・大眞大学校、二〇〇四年一〇月

(翻訳) 「東アジアにおける死刑廃止論考(二)……」

陳興良・陳澤憲・彭聖斐・許一泰、李壽成の所説」、「札幌学院法学」第二〇巻第二号、二〇〇四年三月

(翻訳) 「王泰升：植民地下台湾の弾圧と抵抗」、

二〇〇四年三月

(論文) 「言語行為としての謝罪広告：違法香料事件をめぐる新聞広告の分析」(单著) 『メディアアとことば』「マス」メディアのディスコース」三宅和子他編 全二六三頁 三八一六三頁

担当 ひつじ書房 二〇〇四年

(その他) 「Column 言語行為」(单著) 『メディアアとことば』「特集「マス」メディアのディスコース」三宅和子他編 全二六三頁 六四一六五頁

担当 ひつじ書房 二〇〇四年

(その他) 「Lecture report on 'Good News and Bad News」(单著)

On-line book: (<http://exchanges.state.gov/education/engteaching/>)

(その他) 「Column 言語行為」(单著) 『メディアアとことば』「特集「マス」メディアのディスコース」三宅和子他編 全二六三頁 六四一六五頁

担当 ひつじ書房 二〇〇四年

(その他) 「Lecture report on 'Good News and Bad News」(单著)

『Pragmatic Matters: JALT Pragmatics SIG Newsletter』五号四頁 全国語学教育学会語用論部会 二〇〇四年

千葉 寛樹 (单著) 日本税理士会連合会推薦「消費税メモ」新日本法規出版、二〇〇四年二月九日

(論文)「法人事業税における外形標準課税の導入の問題点」租税理論研究叢書14、「租税原理から税制改革を検証」——法人事業税・消費税——日本租税理論学会編、法律文化社、二〇〇四年一月二〇日

洞澤 秀雄 (判例評釈)「退去強制令書の執行停止が收容部分については認められなかった事例(平成一六・五・三一最高一小決)」法令解説資料総覧二七三号(第一法規、二〇〇四年一〇月)

蓮池 穰 (論文)「行政相談委員の活動と役割」『行政苦情救済とオンブズマン』(全国行政相談委員連合協議会)第一五号、二〇〇四年十一月

曲田 統 (共著)『刑法総論27講』立石二六編著(成文堂、二〇〇四年七月)
(論文)「わいせつ物を購入する行為の可罰性に

ついて」現代刑事法第六卷第二号(No.58)(現代法律出版)、二〇〇四年二月

(論文)「行為無価値論と結果無価値論の止揚のありかた」法学新報第一一〇巻第九・一〇号(中央大学法学会)、二〇〇四年二月

(論文)「日常的行為と従犯——ドイツにおける議論を素材にして——」法学新報第一一巻第三・四号(中央大学法学会)、二〇〇四年十月
(基調報告担当シンポジウム記録)「少年非行にいかに対応すべきか」札幌学院大学現代法研究所年報二〇〇三(札幌学院大学現代法研究所)、二〇〇四年三月

研究発表・講演など

小沢 隆司 (研究発表)「日本刑法史と戦後沖縄」沖縄関係学会研究会定例会、法政大学沖縄文化研究所、二〇〇四年三月二八日

清水 敏行 (シンポジウム)第二回日韓フォーラム「韓国政治の変貌を読み解く——盧武鉉政権誕生の背景と政治課題——」(金萬欽・カトリック大学教授

講演。コメンテータ担当)、北海道大学法学部、北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟三〇一室、二〇〇四年二月一七日

(シンポジウム) 第三回日韓フォーラム「韓国におけるニューガバナンスと市民社会」(廉載鎬・高麗大学教授の講演。コメンテータ担当)、北海道大学法学部、北海道大学エンレイソウ第一会議室、二〇〇四年一月一八日

(シンポジウム) 第二回慶應義塾大学二二〇CEJ-CCC国際シンポジウム「多文化世界における市民意識の動態 市民意識比較分析セッションII 韓国の市民意識」(討論担当)、慶應義塾大学法学部、慶應義塾大学二田キャンパス東館、二〇〇四年十一月二三日

鈴木 敬夫
(学会報告)「国民接受教育的権利」、中国太平洋学会(中国・北京市・稻香湖景酒店)、二〇〇四年八月二五日

(学会報告)「ライトブルッフの晩年の課題・法哲学の時事問題(一九四七)」、第二屆國際拉德布魯赫研討会(中国・北京市・稻香湖景酒店)、

二〇〇四年八月二六日

(学会報告)「李恒寧博士の法哲学・風土的自然法論」、韓国法哲学会二〇〇四年秋季學術大会(韓国・Seoul、弘益大学校)、二〇〇四年十一月二〇日

(特別講演)「中国憲法の四つの基本原則と労働教養制度」、国立中正大学法律学系(Department of Law, National Chung Cheng University)、研究生院講堂(台湾・嘉義市)、二〇〇四年二月二五日

(特別講演)「中国における人権と価値相対主義の展開」、大眞大学校法科大学(Graduate School of Law, Daejin University)、眞大國際学術会館(韓国・Pocheon)、二〇〇四年一月一五日

(特別講座)「死刑廃止と終身刑導入の是非」、札幌学院大学法学部土曜公開講座、江別市大麻公民館、二〇〇四年七月二三日